

磐城中正新報

發行日 毎月一日 十五日
定額 一月 一元 半年 五元 一年 十元
廣告料 普通部十二字一行情
印刷人 安澤榮作

平郵便局の

モダン 廳舎落成

移廳式は八月一日

平郵便局は平町四丁目五日舉行すべく總ての準備に
費廿七萬八千餘圓を投じ昨忙殺されてゐるが中町の電
年六月より新築工事に着手話番號に多少の異動は免れ
中の所本月二日を以て完

襲名認可

諸橋守次氏の
東北一の金物商平町五日
釜屋商店諸橋守次氏は諸橋
ば仲々容易でなきも廿五日
頃までは全部の完成を見
るべく移廳式は来る八月一

石城販賣利用組合が
組合製糸を計畫

養蚕家の一大福音

四倉町商市場は石城販賣利は勿論現下の經濟狀態に對
用組合の經營で開場以來好しては一大福音である各
成績を持続し多額の積立金方面より其具體化の一日も
を有し一般より非常に期待早からん事を待望されてゐ
されてゐるが更に同組合で

倫敦會議の
軍縮剩餘金の

諸経費の内譯

熱望であり生産家が直接製
糸を營む事は産業の合理化五億五千萬圓を此の不況時

代に生み出したとは豪氣で
ある、此れに要した生産費
と鐵道省に陳情し各炭礦結
束して一大猛運動を開始す
と調べて見ると百六十二萬
千十三圓で豫算より二萬千
十三圓超過してゐる、この
内譯は旅費が五十五萬五千
五百廿六圓、一行約四十名
の大名列だから當然かも知
れぬ、次は電信料が廿二
萬五千四百七十五圓で例の
請訓案の電報料も此の中へ
入つてゐる、其の他は事務
費、宴會費、借家料等で七
十一萬五千百十二圓である
と。

海水浴便り

四倉海水浴場は例年の通り
脱衣場の準備も完成し各賣
店は不況の折柄故特に一大
勉強で浴客の需に應じ又同
町の小學校生徒は校長並に
職員指導の下に町内の美化
作業をなし一般避暑客を迎
ふる等全町を挙げて浴客を
待つてゐる

常磐各炭礦の
運賃割戻運動

鐵道省では運賃割戻制度を
實施し運賃増徴政策を講ず
事となつたが、各地の特産
物中運賃の割引をなせば相
當販路を開拓し得るものに
對しては一定の期間後一定
數量を増した場合は二割五
分より四割の割戻をなすと
云ふので常磐の各炭礦では
常磐各地より京濱地方へ發
送する運賃が九州、北海道
旅の如く海路を利用する運
賃より二倍以上の高位に壓
迫され販路を梗塞されてゐ
るのを是非石炭に對しても

小名濱

小名濱海水浴場も既に準備
萬端を終り浴客の來濱を待
つ計りである殊に同港へは
海軍點呼の爲め軍艦が碇泊
し海軍思想普及のため一般
の見學を許し、且特定の希
望者には次の點呼地まで便
を許すので軍艦の碇泊中
は一層賑ひを呈するであら
う

其の他

新舞子久の濱豊間等の各濱
も夫々本年は新工夫を凝ら
し迎客の準備完了した由な
るに伴ひ海水浴場共例年にな
りて長壽を誓つてもだめで
あつた、大隈侯は政事には
選人でも此の眞理をば見通

吉田喜代治氏
白銀町區長に決定

草野清治、加藤康の兩氏が
競争して互に相譲らず承ら
く紛亂を續けて來た平町白
銀町の區長問題も去る八日
の町會に伏見町長は右の兩
氏を推薦せず同町の少壯德
望家吉田喜代治氏を推薦し
たるに大多數を以て吉田
氏に決定した

中正放送

△緊縮、不景氣で失業者續
出一升の米も買ひ兼ねる
人もある世の中に一矢天
王祭の賽錢二千圓とは驚
△電信、電話を半官半民の
會社を小泉遞相持ち出
す半官を止して全然民營

にして如何
△官營煙草の元賣捌人を廢
し直營を目論む、此れも
官營より民營へ移すが當
然
△一般官吏の旅費日當車馬
賃宿泊料の減額一割、其
の外に減するものないか
△日に月に益々殖えて行く
失業者を減らす方法を一
日も早く實現せよ
△郵便貯金の利子引下げに
伴ひ地方信用組合へ加入
者増加の傾向著し中央集
金主義に目醒て來たのは
嬉しい現象である
△産業合理化を具體化する
近途に首相財界のお歴々
を招待して意見を拜聽し
たが格別の名案もなく國
産品愛用説が當日のピカ

遇感遇言

野外生
夫れおもみれば日蓮幼少
の時より佛法を學び候ひし
が念願すらく人の壽命は無
常なり出る息は入る息を待
つことなし風の前の露尚譬
にあらず、賢も愚も老た
るも若きも定めなき習ひや
されは先づ臨終の事を習ふ
て後に他事を習ふべし(聖
言)日蓮聖人は斯く言はれ
た是れは聖人が世の事實を
言ひ顯したに過ぎない誰の
身の上も皆其通である大隈
侯が八壽白二十五才説を唱
へて長壽を誓つてもだめで
あつた、大隈侯は政事には
選人でも此の眞理をば見通

しが付かなかつた、抑も日に就のもある、然らばどうをして居るが臨終のせつ那
運聖人が臨終の事を先に習
へと云ふのは、どうすれば
よいのであるか臨終とは壽
命の終る時で人の死に行く
一刹那である、其刹那を
習へと云ふのである凡そ危
篤の病人を看護した人は經
験もあることなるが病人が
危篤に陥ると非常に手足を
動かしたり色々な動作をな
はさずとも心に起した善惡
して氣を揉み自分の子女に
對し愛戀の情禁する能はず
財産上の心配したり或は顔
色や顔形が變ずる等病人に
種々の變化があるのは正し
き臨終でない、臨終正念と
は少しも動作なく、恰もね
い論より證據其人の終命の
強健の時代は惡事として
惡念を起してもしないふり
身を思ふと

△家屋賃賃格第二次委員
會に平町の爲めに一大奮
闘した井上野崎の兩氏に
平町氏は感謝すべきであ
る
△平局の横領魔桑原庸夫途
に朝鮮で捕る彼が豪奢を
極めし當時と護送委を比
較して感慨無量の人もあ
らん
△安達郡大平村では不況の
對策として村長助役議員
は無給教員は俸給三割値
下げとは此れも緊縮風の
影響
△金儲に掛けては抜け目の
ない鐵道省では來月から
東海、北陸、信越の各線
に百貨店列車の運轉を始
めると助かるのは乗客コ
ボすのは沿線の商人連

商標  
最優良  
清酒  
石城郡飯野村  
醸造元 永山繁木

開業記念を兼御披露の爲め指示正確にして一生持てる最優秀なる時計を當分安價の一割引にておつとめ致します

開業御披露

平驛前通り  
秋山時計店  
時計計  
貴金屬  
眼鏡各種  
時計其他修繕は丁寧親切……期日正確……料金低廉

洗濯物の御用

丁嚙……親切……迅速の  
三拍子揃った  
平町搔搔小路の  
海老原洗濯店へ

市原醫院  
平町田町(電話一四四番)  
内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋毒 市原三三男  
入院隨時

氷水開業廣告

氷水を相始めました、本年は左の如く値下げを斷行しましたから多少に不拘御用命御引立の程を願上げます

氷水	四錢	氷あつき	十錢
同いちご	八錢	同しら玉	十五錢
同れもん	八錢	同玉子水	十五錢
同ぶどう	八錢	同ラムネ	十五錢
アイスクリム	一杯		
あづきアイス	同		
ミルクアイス	同		
氷セーキ水	同		

御注文は……電話三〇五番へ  
出前迅速 藤市  
平町字二丁目

豫て増築中の客室が落成致しました是非一日の御清遊を御待ち致します  
毎度恐入りますが飲食物は皆様の御氣に召した物を御持参を願います  
平町城山

聚樂園

良品廉賣に勝る商略なし  
磐城平町五丁目  
磐城セメント株式會社特約代理店  
和洋鋼鐵 釜屋商店  
金物問屋  
電話 九番 一三九番  
振替貯金口座東京一〇九五六番  
確實敏捷はの生命なり

急告!!

不治の難病に悩む方は直に來れ!  
神事 祈禱 禁厭  
感應 三太氣心靈術  
……(全治病名)……

本療法は今日まで各地に於て行はれて居る療法と異り一種獨特の靈法にて水會御嶽に鎮座する御嶽大神の御靈徳により一切の障を除き後療法を行ふ故其の靈驗著しく醫療手段の盡きたる病氣に奇効を奏し全快せし者枚舉に遑あらず前記の諸病に悩む人は速に來り其靈効に浴せられよ  
交靈感應三太氣心靈術法所 平町搔搔小路廿五  
天玄洞本院 磐城支部長  
神道直轄本會嶽教 哲學博士 大形昭道  
太元講社 太社長  
同出張所 湯本町辰の口 新妻勝之助方  
出張日 三日 四日 六日 以後順序に出張す  
出張日 八日 十日

御進物には  
ヤマフルの商品券が一番  
醬油味噌 たひら正宗  
鰹節 其他 食料品

山崎合名會社

平町電話一〇番

店員慰安海水浴大會

日時 七月廿七日(第四日曜)雨天順延  
同日午七時 平驛前集合  
場所 四倉海岸海水浴場

會員募集

但會費 金壹圓  
晝食辨當を差上マス  
餘興として寶搜等をいたします  
主催 福總新聞社 磐城大衆新聞社 磐城中正新聞社

銘酒



馬目支店 平町田  
電話四五四番